

衛生研究所の業務・機能

衛生研究所は、県内における科学的かつ技術的中核として関係行政部局、保健所等と緊密な連携のもとに(1)調査研究、(2)試験検査、(3)研修指導、(4)公衆衛生情報の収集・解析・提供などの業務を行っている。また、県民からの試験検査の依頼や相談にも応じている。

(1) 調査研究

病原微生物や化学物質、毒劇物などによる県民の健康被害を防止するため、危害の未然防止のための対策、危害発生メカニズムや原因の究明、検査・試験法の開発などの調査研究を行っている。

調査研究の結果は、各学会・研究発表会などで発表・報告を行い、その成果は公衆衛生の向上のためにさまざまな分野で活用されている。

【調査研究課題】

- HIV-1 未治療感染者における薬剤耐性ウイルス等の保有状況調査
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌の分子疫学的研究
- Human parechovirus (HPeV) の遺伝子および分子疫学的解析
- 下水処理場での流入下水および処理放流水におけるノロウイルス実態調査
- 食品からのカンピロバクター菌検出方法に関する研究
- 愛知県民のノロウイルスに対する抗体保有状況調査
- 室内空気汚染物質の実態および生体影響に関する研究
- 原虫（クリプトスポリジウムおよびジアルジア）の汚染状況に関する研究
- 生体内元素の相互バランスと健康に関する研究
- 医薬品等の分析法の開発と市販製品への応用
- 食品からの農薬摂取の実態とその安全性評価
- 水道原水中の微量化学物質の存在に関する調査研究
- 地域保健情報の動的解析および総合的評価に関する研究

(2) 試験検査

健康への危害が想定される公衆衛生上の事件・事故発生時の原因究明のための検査、公衆衛生行政の基盤となる科学的・技術的データを提供するための検査および水質検査、微生物検査、温泉検査等のうち専門的かつ高度な技術や設備を必要とする依頼検査について検査を行っている。

【試験検査の例】

- 感染症・食中毒の原因究明のための病原微生物の試験検査
- 食品中の農薬・添加物・有害物質などの試験検査
- 医薬品等の規格検査、健康食品中の医薬品・有害物質の成分分析
- 飲料水水質検査・有害物質の成分分析
- 温泉分析（登録機関）

(3) 研修指導

新しい知識や検査技術の習得を目的として、衛生研究所の職員が講師となって県や市町村などの公衆衛生行政・試験検査担当職員を対象として最新の知識や情報、技術を提供する実務研修を行っている。大学や関係団体からの研修生・実習生の受け入れやJICA研修生に対する研修、県民の衛生研究所施設見学の受け入れなどを行っている。

また、保健所における試験検査、衛生検査所や水道事業体の検査技術の向上および精度の確保を図るために精度管理事業を行っている。

【研修指導の例】

- 県および中核市保健所試験検査担当職員に対する検査技術研修会の開催
- 保健所および市町村職員に対する保健情報研修会の開催
- 医師会、保健所、技術関係団体への技術研修に対する講師派遣
- 大学生、関係団体からの研修生・実習生の受け入れ
- 県民からの衛生研究所施設見学の受け入れ
- 微生物、環境水質、食品化学、寄生虫検査の精度管理の実施および研修会の開催

(4) 公衆衛生情報の収集・解析・提供

企画情報部内に基幹地方感染症情報センターを置

いて、オンラインで県内の保健所、中核市保健所から感染症情報を収集し、発生動向を調査、監視（サーベイランス）している。調査結果は国へ報告するとともに、週報、月報として編集し、感染症定点へ情報還元するとともに、医療機関、市町村、教育委員会などへ情報提供している。また、ホームページに掲載し、広く県民にも情報提供している。

スギ・ヒノキ科花粉の飛散予測を発表するとともに2～4月まで花粉情報を提供している。

また、調査研究の成果を衛生研究所年報、所報および技術情報として提供するとともに、多くの公衆衛生情報を親しみやすい内容としてホームページに

掲載するなど、県民に幅広く情報提供している。

【公衆衛生情報の収集・解析・提供の例】

- 感染症発生動向調査事業による感染症情報を医療機関、市町村等へ提供
- 県民向けに最新の公衆衛生情報、危害情報や地域保健情報を平易に解説し、ホームページとして情報提供
- スギ・ヒノキ科およびイネ科の花粉情報の提供
- 「愛知県衛生研究所年報」、 「愛知県衛生研究所報」 および 「衛生研究所技術情報」 の提供

